

# 「資本コストや株価を意識した経営の実現」 に向けた取り組み状況

2026年5月12日  
株式会社 東京エネシス



株式会社 東京エネシス

# PBR改善に向けた取り組み

※CN:カーボンニュートラル

ROE 向上	収益力の強化 資本構成の最適化	2025年度の取り組み実績
2024年度中計における事業戦略の実践	成長事業への投資	成長が期待できるCN※関連事業への投資資金の調達としてグリーンボンドを発行し、バイオ燃料発電事業等へ充当
	事業ポートフォリオの変革による収益改善	工事増加が期待できる「原子力分野」「変電分野」に注力し、収益力強化・利益率改善に取り組む
	事業拡大に向けた営業力強化	全国6支店を軸とした営業活動により新規顧客を獲得し、受注高は1,065億円、次期繰越工事高は過去最高を更新
最適な資本構成・資本コストを意識した株主還元	累進的配当の継続実施	2024年度配当52円⇒2025年度配当予想63円 (2025年度 当初配当予想:57円 修正予想:6円増配)
	自己株式取得の機動的な実施	2025年11月6日に自己株式取得 200,000株 自己株式消却 1,750,000株
	市場流動性の向上と株主構成の能動的な再構築	売出し株式総数 3,100,000株
ステークホルダーの理解醸成へ向けたIR活動の充実	市場に対する積極的な情報開示による当社事業への理解促進	「機関投資家からのコンタクトを希望する企業」としてのエントリーを継続
	ステークホルダーとの積極的な対話の取り組みを充実	IR面談を84回実施(前期比39回増)
	対話で出された意見等を経営戦略のレビュー等へ活用	IR面談内容の取締役会への共有と2026年度経営計画への反映
株主資本コスト 低減	株価のボラティリティ低減 成長期待の醸成	

# 当社の資本政策について(株主構成の最適化)

## 株主構成の最適化

- 当社は、中長期的な企業価値向上と持続的な成長の実現に向け、資本政策に関する検討を進めてきた。当社は大株主の保有比率が高く、現状の浮動株ベースでの時価総額基準ではTOPIXに組み入れられない可能性があり、当社の株主価値を毀損することにつながると認識。
- 大株主である東京電力ホールディングス株式会社との対話と調整を重ねた結果、当社の目指す姿とその実現に向けた資本政策に理解を得た。当社は株式の円滑な売買機会を提供しつつ、市場流動性の向上と株主構成の能動的な再構築が可能と判断し、2026年2月に株式の売出しを発表。売出し完了後も、当社は引き続き東京電力ホールディングス株式会社の持分法適用関連会社であり、東京電力グループと当社は、引き続き緊密に連携し、電力の安定供給の責任を果たし、持続的な企業価値の向上を目指す。

## 所有者別株式 分布状況

